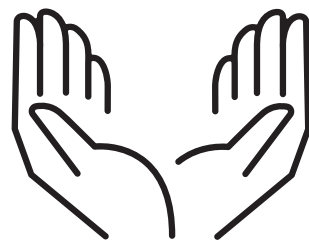




シン・キンカン

SHIN KINKAN
2020-21
CSR報告書



社長挨拶

今年は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるいました。誰もが予想せぬ出来事に困惑し、また緊急事態宣言やロックダウンという都市機能の停止に、経済活動すらまともに出来ない状況に陥りました。

今回の感染症でお亡くなりになられた皆様に哀悼の意を表すとともに、重症化などで今も闘病されている皆様の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

日本は東京オリンピック・パラリンピックの延期という厳しい判断を強いられ、社会全体で新しい生活様式「ニューノーマル」を実行していくこととなりました。私たちKINKAN GROUPも、営業部門は4月から在宅勤務やリモートワークを導入したり、回収現場や工場内では消毒の徹底や事務所のソーシャルディスタンス(時間差・複数拠点化)などを実施することで、働き方に大きな変化が起こりました。緊急事態宣言の解除後も、私たちの働き方やライフスタイルは元に戻さずに、現状もリモートワークなどの対策をしながら、業務の遂行に当たっています。新型コロナウイルス感染症は、私たちに今までの常識が通用しない社会をもたらし、また新たな価値観でないと今後の世の中では生き抜けないという現実を突きつけました。

そんな中、今年もCSR報告書を発行する事ができました。これもひとえに私たちを日頃から支えてくださるお客様、取引先、また社員やそのご家族の皆様のおかげと実感しております。毎回、骨子となるテーマを考えていますが、今回私たちから出たキーワードは「シン・キンカン」でした。シンという言葉には多くの意味を含んでいます。

シン 新キンカン

まずはこの激動の変化に対して、私たちは全てのことを刷新しないとなりません。仕事とは会社に出勤してするものかと思いつ込んでいたのかも知れません。幸いにもコロナに関係なく、社内のIT化、クラウド化を進めていたおかげもあり、営業系はスムーズにリモートワークやフレックス制を導入できました。コロナ禍における私たちの働き方は大きく変わりましたが、今後はこれが新しい生活様式「ニューノーマル」であり、ニュースタンダードであると感じています。

シン 信キンカン

2022年で先代の創業から60年を迎える事となります。永きにわたり多くの皆様からの信用と信頼を得て、今を迎えることが出来ていると考えています。信用とは、過去の私たちに対する評価、信頼とはこれからの私たちに対する期待だと捉えています。これからも皆様からの負託と信頼に応えられるように、スタッフ一同邁進してまいります。

シン 真キンカン

いくらリモートワークが進もうとも、私たちの仕事のほとんどはリアルな社会で行われています。お客様の経済活動が続く限り、その静脈を支える私たちの仕事は止まることはありません。コロナ禍で明確になったこと、それは現場でのコロナ感染が発生した場合、私たちの仕事が止まることで、お客様の経済活動にご迷惑をお掛けすることです。環境インフラとしての責任を改めて感じた瞬間でありました。何があっても廃棄物処理を止めないという私たちの使命を全うしていく所存です。

親近感

そして最後に、多くの意味を含む「シン」と私たち「キンカン」がひとつとなることで、親近感となります。コロナ禍における私たちの活動は大きく制限されました。採用における会社説明会や面接もリモートでの対応となり、今までのように人と会うことで感じる何かは無くなってしまったように思います。しかしながら、ソーシャルディスタンスやリモートでの人間関係だからこそ、親近感を感じてもらえる、そんな組織運営を心がけたいと実感しています。

そんな想いの詰まったCSR報告書。ひとりでも多くの方に手に取って頂けると幸いです。今後とも私たちKINKAN GROUPをよろしく願い致します。

代表取締役社長 西村 忠浩



DATA

会社情報

会社概要

会社名	近畿環境保全株式会社
代表者	代表取締役社長 西村忠浩
資本金	1,600万円
所在地	本社・管理部/ 滋賀県草津市青地町196番地 営業本部/ 滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B 環境事業部/ 滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号

沿革

1962年	前代表の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を開始
1975年	近畿環境保全㈱を設立
1994年	滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得 破砕機と焼却炉で事業を開始
1998年	中間処理業の許可に品目を追加(廃プラスチック類と感染性廃棄物の焼却)
2001年	子会社の(有)新生を設立 プラスチックリサイクル事業を本格的に始動
2002年	湖南市に近畿環境保全㈱石部リサイクルセンターを竣工 2003年より本格的に事業開始
2005年	京都市における一般廃棄物収集運搬会社を分社し、(有)ラゴを設立 石部リサイクルセンターを別法人「(株)湖南リサイクルセンター」へ 子会社の(有)新生も合併し、総合リサイクルセンターとして事業拡大
2006年	中間処理業の許可から焼却を廃止
2008年	(株)きぶらを設立 5月より廃木材をチップ化できる新工場を竣工
2009年	西村忠浩が近畿環境保全㈱の代表取締役社長に就任 西村裕司が近畿環境保全㈱の代表取締役会長に就任
2011年	(株)きぶらの木材チップ製造施設を(株)湖南リサイクルセンターに譲渡 (株)湖南リサイクルセンターにおいて、木くずの破砕施設許可を追加取得
2012年	創業50周年事業を行う
2013年	食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工
2017年	創業55周年を迎える 営業本部を(株)湖南リサイクルセンター内から草津市野村へ移設
2018年	キンカンビジネスアソシエイツ㈱を設立

CSR活動のあゆみ

2005年	ISO14001認証取得
2006年	廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
2007年	小学校における環境学習の開始 びわ湖環境ビジネスメッセ参加開始
2008年	社内環境ポイント制度開始 カーボンオフセット開始(内モンゴルにて植林) ※2017年度終了
2009年	CSR報告書の第一号を発行 琵琶湖森林づくりパートナー協定を締結 エコキャップ推進運動開始・愛する地球のために約束する協定を締結 滋賀グリーン購入ネットワーク入会 グリーン電力を利用 ※2012年度終了
2010年	ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加 循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始 滋賀レイクスターズ スポンサー活動開始
2011年	いしべ共働作業所 障がい者雇用開始
2013年	コナン市民共同発電所へ出資
2014年	太陽光発電パネル設置
2015年	琵琶湖森林づくりパートナー協定 5年間延長
2016年	中間処理棟へLED照明の導入
2017年	滋賀ユナイテッドベースボールクラブのスポンサー活動開始 草津宿場まつり かごかきレースに参加
2018年	NPO法人国際ボランティア学生協会ivusa主催の外来水生植物の除去活動に参加 ヨシ灯り展に参加
2019年	森林づくりパートナー交流イベント開催
2020年	琵琶湖森林づくりパートナー協定 2年間延長

受賞歴

2011年	第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞 第2回しが低炭素リーダー賞 受賞
2012年	第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
2014年	公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 CSR2プロジェクト コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞

KONAN RECYCLE CO., LTD.

Recycle Evolution Revolution Ecology

KINKAN GROUP について

▶ グループ詳細はP27~

廃棄物の運搬、処理を手がける「近畿環境保全株式会社」を中心とし、京都市一般廃棄物収集運搬許可を有する「(有限)会社ラゴ」、県下最大級の処理能力をもつ中間処理工場の「株式会社湖南リサイクルセンター」、グループの雇用や福利厚生サービスなどを幅広く展開する「キンカンビジネスアソシエイツ株式会社」の4社体制で事業展開をしています。

PHILOSOPHY

理念



当グループでは、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、お客様やステークホルダーの皆様へよりよいサービスの提供を目指しています。そのために、労働環境の改善や福祉への取り組みを推進し、安心して楽しく働ける職場づくりに努めています。

また、当社では、社会貢献および教育活動に力を入れています。廃棄物処理のプロとして、地域社会のプロとして、地域社会と次世代へ良い影響をもたらすことができるよう、キンカングループだからこそできる取り組みを行っています。

基本理念

当社は、資源のリサイクル・廃棄物の収集運搬・中間処理を三本柱とし、適正に再資源化、処理を行うことで循環型社会の構築に務めます。「人と地球にE-Communication Partner」というキーワードを基に、お互いがパートナーシップを築くことで未来への可能性を広げて、私たちの地域社会や自然環境を愛する活動の実現、自然との共生を目指します。



100年企業を目指して



創業 55 周年に発表したコンセプトロゴ 「サステナブル 55」

持続可能性と多様性を組織運営の両輪とし、湖国滋賀で商いをさせて頂けることへの感謝と近江商人の「三方よし」の精神をもって、お客様や取引先、社会にとって必要とされる企業であり続けるために、という思いを込めています。

1

衛生管理の強化

新型コロナウイルスの感染拡大をうけて、衛生管理を強化いたしました。
社員の健康を守り、安心して働ける職場を目指します。

マスクの支給 および着用

マスク着用を全従業員に義務付けました。マスクが品薄だった時期には、使い捨てマスクを支給しました。

急変する社会

地域の環境インフラであり続けるために

2020年、新型コロナウイルスの流行は社会情勢に大きな影響を与えました。これを受け、多くの事業所が休業を余儀なくされています。

しかし、地域の方々の生活や経済活動を支えるライフラインである廃棄物処理業者が業務を止めるわけにはいきません。人々の安心な暮らしを守るために、コロナ禍による社会情勢の変化に対して速やかに、そして柔軟に適応しながら業務を続けていきます。

今までと、これから

社用車に除菌用品を常備

廃棄物の収集運搬車両や重機、営業車の乗降時は、ハンドルやシフトレバー等の手が触れる箇所を除菌しています。訪問先でも消毒できるよう、車両にはアルコール除菌液を常備するようにしました。

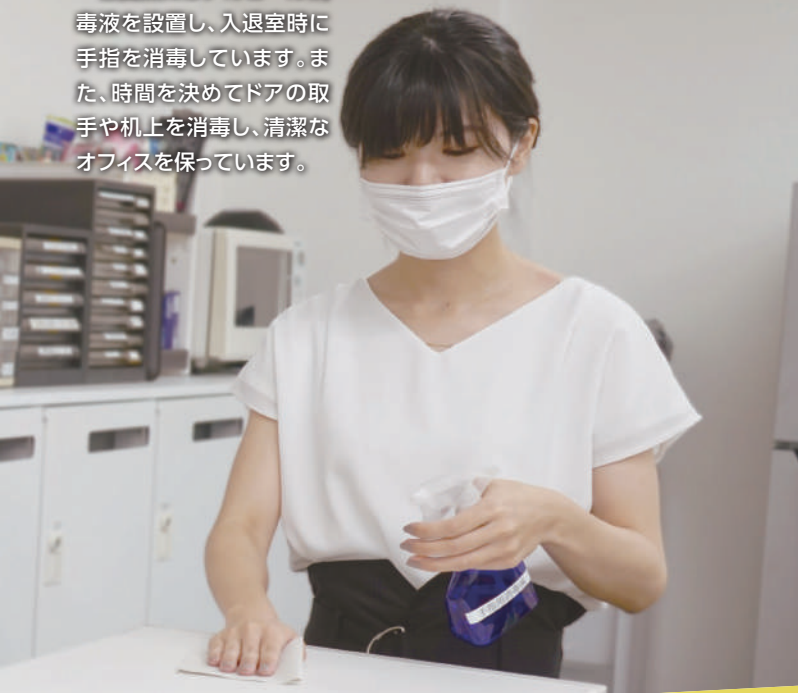
ニューノーマルに適應するために

当社はいち早くSDGsの視点を取り入れ、持続可能な社会を目指してきました。急激な社会の変化に速やかに対応できたのは、この取り組みがあったからです。

一方で、今回の件で明らかになった課題もあります。明らかになった課題を整理し、解決に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

アルコール消毒の徹底

各拠点にはアルコール消毒液を設置し、入退室時に手指を消毒しています。また、時間を決めてドアの取手や机上进行消毒し、清潔なオフィスを保っています。



検温

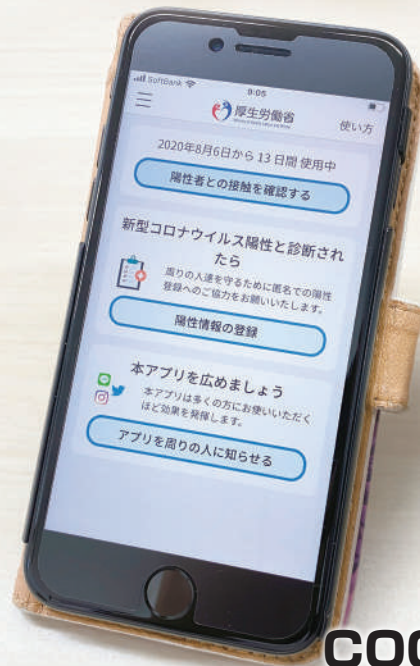
各拠点に非接触型体温計を備え、出勤時に検温を行いました。37.5°C以上の発熱など、体調に異変がある従業員は出社しないよう呼びかけ、自宅で休ませています。

—シン・キンカンがはじまる



車両の消毒

運搬車両がウイルスを運ぶ媒介とならないように、週に1回、車両全体の消毒を行っています。



COCOAの利用

厚生労働省が新型コロナウイルス感染症対策の一環として発表しているスマホアプリ「COCOA」を社用携帯保有者の全員がインストールしています。感染者との接触情報を記録することで、感染の早期発見及び早期対策に繋がります。



二重窓の設置

飛沫感染を防ぐために、湖南リサイクルセンターの受付を二重窓にしました。

2

回収が止まらない体制をつくる

当社社員が新型コロナウイルスに感染した場合、同じ事務所で働いていた社員全員が感染している可能性があります。クラスター感染の連鎖を断つためにも、その事務所は休業せざるをえません。

しかし、廃棄物処理業者である当社が休業すれば、お客様の廃棄物の処理が滞ってしまいます。このリスクを軽減するために、拠点を分散し、拠点間での濃厚接触を避けることにしました。万が一、いずれかの拠点で感染が確認された場合も、他の拠点がフォローできるように体制を整えています。

物流拠点の分散

当社の要である物流拠点は3箇所に分けました。拠点間の連絡はSlackを使用し、濃厚接触がないように徹底しました。

また、3拠点の内2拠点は、どちらも一般廃棄物の各市の定期回収コースを回れる体制です。どちらかの拠点が新型コロナウイルス感染によって休業をした場合は、残りの拠点がフォローして回収できるように対策しました。



臨時物流拠点の様子。
環境事業部2階の会議室を物流事務所として使用しました。

社員全員が感染を防ぐために、団結力が以前より強くなりました。

新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、日本でも感染が広がり始めた時、集団感染を防ぐために、物流チームの事務所を3箇所に分けることとなりました。感染を防ぐ防御対策として三密を避けたことで、会社へ出勤することの不安要素が少なくなりました。また、社員全員が感染を防ぐために、団結力が以前より強くなりました。

感染対策のために、Slackでの連絡が多くなり、今まで以上に報告・連絡・相談を強化しています。

環境事業部 物流課
高木 崇志



テレワーク

2020年4月7日に緊急事態宣言が発令され、三密となる公共交通機関での出勤を避けるべく考えました。4月20日より、公共交通機関で通勤している社員を対象にテレワークを開始しました。

緊急事態宣言解除後も事務所の密度を抑えるためにテレワークを継続しています。事務所への出社は交代で行い、緊急事態宣言以前と同様のサービスをご提供できる体制を整えています。



フレックス制度の導入

2019年10月に働き方に関する社内アンケートを実施し、フレックス制度の導入を検討し始めました。

2020年3月に新型コロナウイルスの流行を受けて、公共交通機関の通勤ラッシュを回避するために必要だと考え、事務業務を行う部署を対象に運用を開始しました。

デジタル社会に対応していたことが功を奏し、スムーズに在宅勤務への切り替えができました。

昨今の情勢の変化で今まで通りの仕事ができなくなる中、弊社においては以前からSalesforce、Gsuite、Slackといったツールを導入し、デジタル社会に対応していました。このことが功を奏し、スムーズに在宅勤務への切り替えを行うことができました。実際に在宅勤務を行う中で情報共有や商談・打ち合わせについてもスムーズに行うことができました。どうしても押印や郵送等、事務所での対応が必要な案件は、事務所に出勤している社員へ情報共有を行い、代理で対応してもらえたので非常に助かりました。

営業部 営業二課
木村 健人



3 社員が働きやすい職場をつくる

新型コロナウイルスの感染を防ぐためには、密閉、密集、密接の三密を避けることが重要です。当社では、社員が三密を避けて仕事をできるように、フレックス制度とテレワークを導入しました。その結果、通勤時や勤務中の三密を避けられるようになったため、社員も安心して働くことができました。それだけでなく、社員それぞれが自分に合った仕事の形を選択できるようになり、働きやすくなったという意見もあります。

今回導入したフレックス制度とテレワークは、新しい生活様式に対応した働きやすい職場づくりのためにも、今後も継続したいと思います。

4 加速するICT

当社では新型コロナウイルスが流行する以前から、業務効率化のために社内インフラとしてICTの導入を進めていました。この社内インフラを活用することで、コロナ禍による社会情勢の変化に適応しながら業務を続けることができました。

また、社会情勢の変化によりICTの活用が大きく加速し、その活用方法が大幅に広がりました。新しく取り入れた活用方法は、今後も活かしていきたいと考えています。



Slack導入

当社では、社内連絡ツールとして「Slack」を使用しています。

2018年8月より一部の部署でテスト運用を実施し、2019年11月に本格運用を開始しました。社内での報告・連絡・相談を「Slack」に集約することで、各部署で発生している問題や社員が抱える悩みなどを可視化し、拠点や部署を超えて協力することで、速やかに課題解決に取り組みることができます。

新型コロナウイルスが流行してからも、異なる拠点の社員が濃厚接触することなく、連絡やデータ共有ができました。また、テレワーク中も社員同士が積極的に連絡を取り合い、協力して業務にあたることができました。



web説明会 web選考

採用活動においても新型コロナウイルスの影響を受けました。

持続可能な会社であるためには、採用活動を続けなければなりません。学生の外出による感染リスクを考慮し、Google Meet を使用して説明会や選考を実施しました。通常の会社説明会であればなかなか参加できない遠方の学生とも話すことができました。

中途採用では会社説明会の動画をYouTubeにアップして採用活動を行いました。



webミーティングの活用

新型コロナウイルス流行以前から拠点が異なる社員同士が会議をする際にGoogle Meetを使用してweb会議を行っていましたが、緊急事態宣言中は、ほぼ全ての会議がweb会議となりました。



インサイドセールス

お客様の元へ訪問しなくてもお悩みをお伺いできるように、web会議での商談にも対応いたしました。資料を共有しながらお話しすることもできるので、遠くにいながらでも直接お会いしているのと同じように商談ができます。

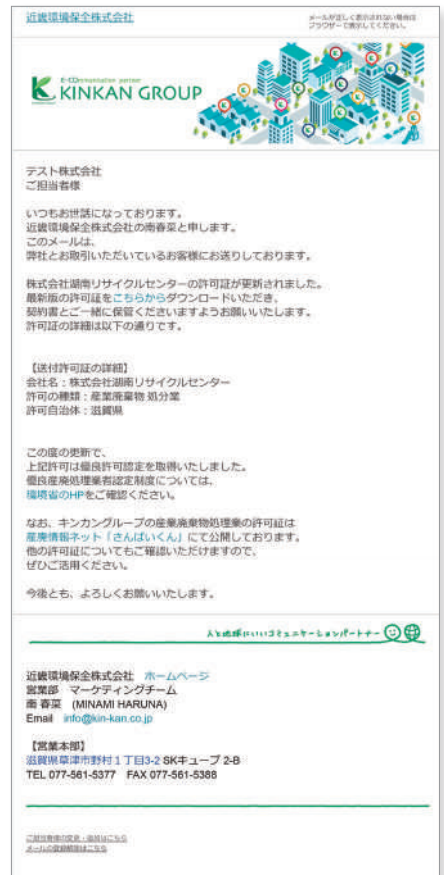
リアルな私たちを見ていただくことができたという確かな手ごたえを感じております。

web会社説明会は、画面越しでも弊社の雰囲気や内容にしたいという想いで臨みました。準備の甲斐があり、物理的な距離をあまり感じることなく学生さんたちとお話することができました。実際に遠方からご参加いただいた学生さんもいて、採用活動の可能性が広がるのを感じます。今回、学生の皆さまに現在のリアルな私たちを見ていただくことができたという確かな手ごたえを感じております。web説明会やweb選考については、新型コロナウイルスに関係なく、学生さんのご意見をお聞きしながら活用していければと思います。

営業部マーケティングチーム / 採用チーム
南 春菜

お客様への 連絡方法の変更

新型コロナウイルスの流行をうけ、テレワークやフレックス制度を始めたお客様もいます。お客様への一斉のご連絡は郵送でお送りしていましたが、時間や場所に関係なくご確認いただけるメールへと変更いたしました。





自然を守る



外来魚駆除数

256匹

外来魚釣果数

2019.6.16 伊庭内湖外来魚釣り大会
主催者発表参加者 384名
(内ネットワーク参加者 178名)
ブルーギル・255匹 ブラックバス・1匹

CO₂吸収量

6.22t

2019.12.7 CO₂の吸収量 6.22t
2020.2.8 CO₂の吸収量 8.02t
※定員に達し、参加せず
2020.3.7 新型コロナで中止



外来魚駆除釣り大会

琵琶湖の生態系を脅かすブラックバスやブルーギルを除去し、固有種の生態系を守り続けていくために、2015年から毎年開催される「外来魚駆除釣り大会」に参加しています。

2019年度も「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」の活動である当大会に参加し、合計256匹の外来魚を駆除しました。駆除した外来魚は能登川漁協を通して肥料化されます。

モロコヤフナでいっぱいの琵琶湖を取り戻せるよう、これからも活動を続けていきます。

ヨシ刈り

2010年より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」の活動であるヨシ刈りに毎年参加しています。枯れたヨシを冬に刈ることで、琵琶湖の水質向上へ繋がっています。

また、ヨシはノートや、当社の名刺の原料に活用されています。

残念ながら、本年度2回目のヨシ刈りは新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

ヨシ灯り展

昨年に引き続き、滋賀県の近江八幡市にある西の湖にて開催されたヨシ灯り展に出品しました。冬に刈り取られたヨシを材料に、パッカー車(ゴミ収集車)をモチーフに作りました。

制作過程ではヨシの切断・組み立てを繰り返すことで、ヨシの特徴を肌で感じることができ、今までは知らなかった琵琶湖の一面に触れることができました。



CO₂吸収量
33.06t

森林づくりの活動場所の所在地

滋賀県湖南市三雲字大納言 2158-54
滋賀県湖南市三雲字赤赤 3353-1
滋賀県湖南市三雲字島ヶ嶽 3353-1
広さ：12.41ha

森林整備

2009年より続けている森林整備活動は10周年を迎えました。

2019年度も三雲生産森林組合の皆さんと下草刈りを行いました。

森林の手入れをすることで、CO₂を吸収する機能も向上し、地球温暖化防止の効果も上がります。

また、協定による森林整備の内容を毎年滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書を受領しました。2019年度のCO₂吸収量は33.06tでした。

協定を結んでから10年間で合計533tのCO₂削減に貢献しました。



パートナー交流会

三雲生産森林組合と近畿環境保全株式会社との活動の一環として、自然と親しみながら街との繋がりを考えるイベントを運営しました。

当イベントでは椎茸の植菌をはじめ、森の中ならではの体験ができるように企画し、社員の子どもたちも楽しんで参加してくれました。

**琵琶湖森林づくり
パートナー協定**

湖南市の三雲生産森林組合と結んだ協定であり、森林づくりにかかる費用と労働力を提供し、作業を行っています。

琵琶湖の水源である森林を整備することにより、豊かな森と安全な水を守るように努めていきます。

**水遊びだけじゃないピワ活も堪能できて、
いい刺激になっています。**

ヨシで琵琶湖を守るネットワークの活動では小学校の図画工作を思い出しながら、数人で楽しく作品作りをしています。琵琶湖で育った植物を材料にしているので、より一層大事に使おうと思えます。制作中はヨシの太い部分や細い部分を切り分けながら作っていくのですが、うまく切れなくてヨシが割けてしまったり、苦戦することもあります。

その分、会場で展示された時の達成感は大きいです。同時に、来年はもっと良いものを！とリベンジの気持ちも湧き上がります。水遊びだけじゃないピワ活も堪能できて、いい刺激になっています。

営業部マーケティングチーム /SDGs チーム
田中 万葵



発電量
128,534 kWh

①F.R.O.Gセンター太陽光パネル発電量 13,645kWh
(CO₂削減量 4.3t)

②市民共同発電所式号機発電量 114,889kWh

再生可能エネルギー

当社F.R.O.Gセンター内の洗車場施設に約12kwの太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。2019年度の発電量は13,645kWhでした。これによりおよそ4.3tのCO₂を削減しました。

2013年度に地元の湖南省市における市民共同発電所式号機に出資しました。出資者として地域の再生可能なエネルギー作りに参加しながら地域の活性化を応援しています。2019年度の発電量は114,889kWhでした。



LED照明の利用



低炭素社会への取り組みとして、湖南リサイクルセンターと営業本部にて水銀灯や蛍光灯を長寿命のLED照明に交換しました。

BDFプロジェクト

地域における循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。回収した廃植物油は油藤商事株式会社にてバイオディーゼル燃料(BDF)へ精製してもらい、地域のクリーンエネルギーとして利用されています。

BDFは二酸化炭素を排出しない「カーボンニュートラル」な燃料として地球温暖化防止に寄与します。地域の循環型社会構築のプロジェクトとして協力会社と共に取り組んでいます。2019年度は12,400Lの廃植物油を回収しました。バージン燃料の代わりにBDFを使用することにより、32.49tのCO₂削減に繋がりました。



社会を支える



環境イベント出展

びわ湖環境ビジネスメッセ

今年はSDGsをテーマに、びわこバイオガスプロジェクトやPCB廃棄物の調査及び適正処理、地域に密着したCSR活動について紹介しました。

本イベントは毎年若手社員を中心に企画と出展準備を行い、当日は先輩社員と接客対応をすることで、社員が成長する機会となっています。

草津市エコフォーラム

環境問題やその取り組みに関するイベントで、講演や展示会が行われます。講演後は、会場である草津市立グリーンセンターの施設を見学しました。今年も展示会に出展し、地元会社や行政、一般の方々と交流しました。

しがぎんSDG ビジネス・マッチングフェア

SDGsに貢献する社会的課題解決型ビジネスを行う企業が集まる展示会です。当社もSDGsを支援する企業の一員として出展しました。

KINKANセミナー

今年度は、6月に「害虫対策」、11月に「PCB廃棄物の適正処理」に関するセミナーを開催いたしました。セミナーを通して、お客様にとって役立つ情報を発信していきたいと思っております。

スポーツチーム スポンサー

地域密着企業として、地元のプロスポーツチームを応援しています。

2010年よりプロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」、2018年よりプロ野球独立リーグチーム「オセアン滋賀ブックス」のスポンサー活動を行っています。

昨年は滋賀レイクスターズの昨年シーズンのホーム最終戦を観戦しました。



盛り上がって先輩との仲も深まり楽しいイベントでした。

滋賀レイクスターズの2019年シーズンホーム最終戦を観戦しました。私はこれまでスポーツ観戦をしたことがなかったのですが、選手や観客の熱気と音に圧倒され、気付いたら隣に座っていた営業部の先輩と叫んでいました。接戦で滋賀レイクスターズが勝利し、非常に見応えのある試合でした。

仕事終わりに営業部の皆さんで出かけることはあまりなかったのですが、盛り上がって先輩との仲も深まり楽しいイベントでした。

営業部マーケティングチーム
齋藤 千紘





繋がる教育



出張授業
10校

子ども向けの環境学習を実施しています

- 2011年 三上小学校
- 2012年 草津小学校、治田小学校、(レイクスキャラパン)三上小学校、守山養護学校
- 2013年 三上小学校
- 2014年 菩提寺小学校、三雲東小学校、三上小学校、吉身小学校、物部小学校、青山小学校
- 2015年 三雲東小学校、三上小学校
- 2016年 三上小学校、三雲東小学校
- 2017年 三上小学校
- 2018年 三上小学校、八日市養護学校
- 2019年 三上小学校

持続可能な社会を実現するためには、未来の世代に健全な地球環境や資源を残すだけでなく、環境保全の重要性を後世に伝えていく必要があります。

まずは、子どもたちにとって身近な課題であるゴミの分別やリサイクルから学んでいただくためのお手伝いとして、環境学習を実施しています。「地域社会に根ざす廃棄物処理業者」である当社ならではの体験型の授業を行っています。

リサイクルクイズ

クイズ形式でゴミの種類や分別方法、リサイクルについて知識を深めていきます。

分別体験

クラスのみみんなで話し合いながら、ゴミを分別する体験ゲームをしてもらいます。

リサイクル過程を知る

廃植物油の精製の仕組みを見学したり、プレスした缶や発泡スチロールを溶かして固めたインゴットに触れたりすることで、リサイクル過程を肌で感じてもらいます。

積み込み体験

廃棄物の回収はどうしているのか、ドライバーはどのような仕事をしているのか。実感してもらうために、車両にごみを積み込む作業を体験してもらいます。



環境学習の実施の様子

冬季インターンシップ



トレードオフカードを1枚、リソースカードを3枚配布
 各リソースカードを二枚以上使用し、解決案を考える
 して各グループがアイデアプレゼンテーション
 を行う。アイデアについて意見交換

参加学生
18名

夏季インターンシップ2名
 冬季インターンシップ16名

インターンシップ

夏季インターンシップ

8月から10月の間、計5日間に
 及び営業企画インターンシップを
 開催しました。

びわ湖環境ビジネスメッセに向
 けて企画会議に参加したり、CSR報
 告書の内容を考えたり、さらには社
 員へ向けてSDGsの理解度を深め
 るための記事を作成するなど、幅
 広く活躍していただきました。

冬季インターンシップ

2020年1月から2月の間、合
 計3回各1日の冬季インターン
 シップを当社営業本部にて開催
 しました。

「SDGsと仕事」をテーマにセ
 ミナーやグループディスカッシ
 ョンを行い、SDGsの観点からビ
 ジネスアイデアを考えていただき
 ました。

将来について決める時に、
 当社インターンシップでの体験が役立てば幸いです。

SDGsのポイントは、事業活動そのものを通して世界が抱える課題を解決していくことだと考えております。夏季インターンシップでは、SDGsの観点から営業企画を行い、実践するまでの流れを体験していただきたいと思い企画いたしました。

参加いただいた学生の皆さまが将来について決める時に、当社インターンシップでの体験が役立てば幸いです。

営業部マーケティングチーム / 採用チーム
 南 春菜



KINKAN GROUPが取り組む

環境マネジメントシステム

環境ポイント制度

31,459 ポイント



目標 **13,000** ポイント (1年間)

**スタッフ全員で
資源物回収運動を行っています。**

当社独自の環境ポイント制度は、全従業員を対象に18年間行なっている取り組みです。従業員の各家庭から排出される缶・ペットボトル・新聞・段ボール等の古紙を会社へ持参することでポイントを付与する運動です。

最も積極的に参加した社員20名を表彰するなど、士気を高める工夫もしています。

2019年度より制度を見直し、社員の環境に係る活動を支援していくために、社会貢献や環境学習、環境活動もポイント付与の対象となりました。結果として、従来の約3倍のポイントに到達できました。

SDGsの取り組みと合わせ、さらに活動の領域を拡大していきたいと考えています。



して働ける職場づくり



食品廃棄物搬入量の増加

589t

目標 **715**t (1年間)

食品リサイクルを推進するため、2012年(平成24年)にF.R.O.Gセンターを立ち上げました。

当社の認知度向上や営業活動の甲斐あり順調に推移していましたが、平成30年(2018年)9月に国内で発生が確認されたCSF(旧名称:豚コレラ)の流行により、飼料化及び肥料化による食品リサイクルが難しくなったため、目標達成には至りませんでした。

最終処分場、 再中間処理先の開拓

6 件



目標 **2** 件 (3年間)

**安定的な処分先の確保に
取り組んでいます。**

2019年度は、安定型最終処分場を1件追加することが出来ました。

株湖南リサイクルセンターの新しい最終処分場や二次処理先を確保することは、安定的な廃棄物処理に繋がります。お客様へ安心・安全な廃棄物処理を提供するための取り組みです。

情報発信活動

173件

目標達成

目標 111件(1年間)

情報発信を推進しています。

当社は、CSR報告書やホームページ、SNSを通じて、お客様や地域の皆様に役立つ情報発信を推進しています。また、「産廃情報ネット」のさんぱいくんを通し、産業廃棄物の業許可に係る情報を開示しています。

今後も様々な情報を発信していきます。

低公害車両の導入

6台購入 4台廃止

目標達成

目標 3台購入(3年間)

環境負荷を減らすため、
低公害車の導入を
推進しています。

廃棄物業界では、遠方の最終処分先が追加されることにより、環境に負荷がかかってしまうことが懸念されています。当社にとっても例外ではなく、運搬コスト削減のための新型車両の導入が必須となっています。

また、産業廃棄物収集運搬業の優良認定制度に対する「低排出ガス及び低燃費車の導入」の公表事項においても必須条件として取り組んでいます。平成27年度燃費基準5%向上達成車も6台となりました。

KINKANよくするプロジェクト 課題抽出の推進

2件

目標達成

目標 1件(1年間)

「KINKANよくするプロジェクト」にて、
より良い職場づくりを
行なっています。

社内外の課題をスタッフ自らが発見し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

2019年度課題

休みやすい職場づくり

地域の環境インフラである当社は、有給を取得しづらいことが課題でした。業務を止めずに休日を増やせるよう、月出勤シフト表を作成しました。

その結果、サービス低下を招くことなく、有給が取得しやすくなりました。

熱中症対策

月1回の安全委員会で出た意見をもとに、熱中症対策を実施しています。

2018年には施設内にスポットクーラーを設置し、2019年にはファン付作業着を支給しました。

当社のISOの環境目標に対する取り組みは、3年計画でPDCAを運用しています。

今回はISO14001:2015版になってから、ちょうど3年目の節目に当たります。

この3年間の取り組みの中では、以前から継続している社員全員を巻き込んだ環境ポイント、最新車両への買い替え、当社の情報発信、課題抽出の観点から、①業務改善、②人事評価の導入、③ICTなどを積極的に取り組むことになりました。

その結果、人事評価クラウドシステムの導入・労働安全委員会から提案された熱中症対策のファン付作業着の導入、電子契約システム「weee」の導入、テレワークの推進、「Slack」「G Suite」の本格運用やWeb会議などを駆使した業務効率化を図ることが出来ました。

コンプライアンス室 室長 永戸 浩一

KINKAN GROUPの

リサイクル実績

キンカングループは廃棄物のリサイクルを行い、循環型社会の実現を目指しています。また、事務用品等の購入の際は、環境に配慮された商品を選んでいきます。

今年度の実績を調査し、昨年度の実績と比較することで、当グループの取り組みについて客観的に分析しました。

産業廃棄物のリサイクル

マテリアルリサイクル率

2018年度 47.74%

2019年度 41.84%

5.9% 減

リサイクル率

2018年度 49.21%

2019年度 43.34%

5.87% 減

社会情勢により、今まで有価物として取引されていたプラスチックが廃棄物となりました。そのため、RPFなどのサーマルリサイクルへの供給が需要を上回り、品質の良いプラスチックが集まるようになりました。

これにより、搬出先から品質の高いプラスチックを求められるようになり、搬出できる廃棄物の量が減少しました。

グリーン購入

グリーン購入率

2018年度 82.93%

2019年度 83.07%

0.14% 増

事務用品等を購入する際、可能な限り環境配慮型商品を選択しています。

2009年からグリーン購入ネットワークに参加し、この試みを始めてから80%以上を維持しています。

木くずのリサイクル

リサイクル量

2018年度 3,113t

2019年度 2,481t

632t 減

リサイクル率

9年連続 **100%**

木くずの再生施設の認定を受けるため、搬入される木くずの90%をリサイクルに繋げることが目標です。実績としては、搬入された木くず全てをリサイクルに繋げることができました。

木くずのリサイクル量は、二次排出先の改修工事により、受入量を制限したため減少しました。

再生原料となる 廃棄物のリサイクル

リサイクル量

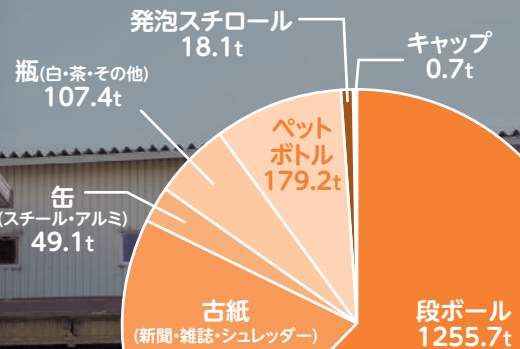
2018年度 2,189.1t

2019年度 2,017.0t

172.1t 減

資源循環センターでは再生原料となる廃棄物を有価物として取り扱い、段ボールや缶、ビン、ペットボトル、発泡スチロールをリサイクルしています。

ただし、社会情勢により、再生利用の価値が下がり、買い取りや無料引き取りが厳しくなっています。



コンプライアンスへの取り組み



安心・安全への取り組み

当グループの事業で環境への負担を把握するために、事業を行っている4ヶ所にて廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を実施しています。騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値以下となるよう努力しています。

さらに、当社は特定施設にはなりませんが、水質汚濁防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。2019年度の調査が5月23日に行われ、基準値を超えずにクリアできました。

また、毎年2月に法律と条例を遵守しているかどうかを確認しています。2019年度は2020年2月28日に行い、全ての法律と条例を遵守していると確認できました。

工場見学

お客様自身の目で処理先をご確認いただけます。当グループの施設だけでなく、最終処分地、協力業者への視察も調整します。

また、研修や環境学習のための工場見学も行っています。

処分地の確認

現地へ赴いて視察を行い、処理の適正さと信頼性の確認が得られた最終処分地のみをお客様にご提案しています。

すべて
遵守

法律・条例 一覧

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 資源有効利用促進法 (各種リサイクル法)
- 騒音規制法
- 振動規制法
- 悪臭防止法
- 水質汚濁防止法
- 電気事業法
- 建設業法
- フロン排出抑制法
- 消防法
- 浄化槽法
- 道路交通法
- 道路運送車両法
- NOx・PM法
- 高圧ガス法
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 労働安全衛生法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
- 同和対策特別処置法
- 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
- 男女雇用機会均等法
- 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
- 暴力団等排除条例
- 湖南省環境基本条例
- 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
- 公害防止協定-青地町自治会

騒音レベルと振動レベルの調査結果と評価

基準値
CLEAR!

騒音レベル	近畿環境保全㈱	㈱湖南RC	F.R.O.Gセンター	㈱ラゴ
規則基準	65dB	70dB	70dB	70dB
調査結果 (場所/No1)	55dB	58dB	58dB	50dB
調査結果 (場所/No2)	56dB	58dB	54dB	59dB
評価	○	○	○	○

基準値
CLEAR!

振動レベル	近畿環境保全㈱	㈱湖南RC	F.R.O.Gセンター	㈱ラゴ
規則基準	65dB	70dB	70dB	65dB
調査結果 (場所/No1)	35dB	41dB	43dB	30dB
調査結果 (場所/No2)	38dB	42dB	38dB	30dB
評価	○	○	○	○



火災対策

事故防止対策

水害対策

安心・安全な 職場・工場づくりを 目指しています

当グループにとって最大の危険は火災です。仕事や作業の危険性を把握して未然に防止し、危険性を削減する対策を行っています。

緊急事態の対策手順を策定し、スタッフ全員が手順通りに実施できるよう、定期的に社内勉強会や訓練を行っています。また、火災の原因となる物(ライター、発煙灯等)が廃棄物に混入しないよう、お客様へ搬入禁止物の周知を図っています。

安全委員会や 安全パトロールの実施

事故防止のために、毎月1回安全委員会を開催しています。工場内・物流業務等、業務の中に潜む危険箇所を挙げ、改善策を決定しています。さらに、週1回各現場で安全パトロールを行い、危険箇所や改善箇所を確認しています。

また、勉強会を各部署で月1回、社内全体で年2回行い、危険予知(KY)活動やリスクアセスメントについて学んでいます。

大雨や洪水などを 未然に防ぐ

(株)湖南リサイクルセンターは河川に近く、土地も低いので、水害のおそれのある地域です。そのため、水害対策を行い、大雨や洪水の際の危険削減に努めています。

事務所内のフロアの高上げ、設備の防壁の設置等を実施しました。また、災害時の行動マニュアルや工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐように努めています。

臭気測定の結果と評価



騒音レベル	近畿環境保全㈱	(株)湖南RC	F.R.O.Gセンター	(南)ラゴ
規則基準	12	敷地境界線14		
調査結果 (場所/No1)	10未満	10未満	10未満	10未満
(場所/No2)	10未満	10未満	10未満	10未満
評価	○	○	○	○



水質

放流水に関してもデータ管理を行っており、年1回水質に関する調査を自主的に実施しています。

計量対象項目	単位	計量の結果		計量の方法
		近畿環境保全㈱	(株)湖南RC	
水素イオン濃度		7.8	7.0	JIS K0102 12.1
生物化学的酸素要求量	mg/L	4	3	JIS K0102 21 及び32.3
化学的酸素要求	mg/L	3.6	1.6	JIS K0102 17
浮遊物質 (SS)	mg/L	5.0	2.0	環境庁告示第59号付表
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	0.5未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数	個/cm ³	1	0	厚生省・建設省令第1号
窒素含有量	mg/L	0.5未満	0.5未満	JIS K0102 45.2
燐含有量	mg/L	0.1未満	0.1未満	JIS K0102 46.3
pH測定時試料温度	℃	20.3	20.4	JIS K0102 7.2

誰もが活躍できる職場づくり



企業在籍型 職場適応援助者 資格取得!

キンカンビジネスアソシエイツ株式会社
住田 秀人

2019年5月に企業在籍型職場適応援助者を取得させていただきました。

障がい者の方々にとって、働きやすい環境とはなにかを考えると同時に、事業所内での障がいを持つ方々がどういったことで悩んでいるのかなど啓蒙活動や困難さを知る事のできるきっかけ作りができればと思っています。障がい者の方が自然に働ける環境「ナチュラルサポート」を目指していきます。



成長できる職場づくり

当グループを支えるスタッフ一人ひとりのスキルアップがお客様へのより良いサービスに繋がると考え、社員教育に力を入れています。社員それぞれが持っている能力を最大限に発揮し、自信を持って働くことができる環境を目指しています。

1 資格取得の支援

2名
資格取得

当グループは資格支援制度を設けています。この制度は、業務に必要な資格を取得する費用を会社が負担する制度です。今年度は2名の社員が制度を利用して資格を取得しました。

2 社内研修の実施

70名
社内研修

社内研修では、業務に必要不可欠なことを中心に学んでいます。グループ全体で研修を行うことで、サービス品質の向上を目指しています。

通年		
ISO勉強会	年4回(5・8・11・2月)	50名
指定可燃物と保管数量(危険物管理についての講義)	9月	36名
2019年		
SDGsカードゲーム研修	7月30日	3名
2020年		
廃掃法基礎勉強会	1月 9日	20名
緊急事態、油流出事例勉強会	2月29日	20名
あしたのチーム(人事評価制度)研修	3月25日	1名

3 社外研修

のべ
25名
社外研修

社外研修も積極的に活用しています。業務内容や役職など、社員それぞれに合ったプログラムに参加することで、更なるスキルアップに繋がっています。

帝国データバンク 管理者講習	2019年 4~5月	1名	帝国データバンク 管理者講習	2019年 10~11月	1名
主催:株式会社帝国データバンク			主催:株式会社帝国データバンク		
ジョブコーチ実技研修	2019年 5月	1名	アクティブブレインセミナー	2019年 11月	4名
主催:滋賀障害者職業センター			主催:一般社団法人アクティブ・ブレイン協会		
環境法に関するセミナー	2019年 5~7月	1名	PCBセミナー	2019年 11月	3名
主催:上智大学法科大学院 環境法政策プログラム(SELAPP)			主催:一般社団法人 日本PCB全量廃棄促進協会 JPTA		
実践型営業力 強化プログラム	2019年 5~9月	1名	PCB研修(福岡)	2019年 12月	3名
主催:株式会社帝国データバンク			主催:一般社団法人 日本PCB全量廃棄促進協会 JPTA		
SDGs未来会議	2019年 6月	2名	ESJ廃掃法セミナー	2020年 2月	2名
主催:株式会社宣伝会議			主催:エコスタッフ・ジャパン		
セールスフォース 管理者向けセミナー	2019年 6~7月	1名	さんばいフォーラム	2020年 2月	2名
主催:株式会社セールスフォース・ドットコム			主催:公益社団法人大阪府産業資源循環協会		
くさつエコフォーラム	2019年 7月	3名			
主催:草津市・草津商工会議所					

当グループは、社員教育に力を入れることで社員の成長の機会を増やすと同時に、育児休暇制度を整えることで安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。

社員それぞれが家庭やプライベートな時間を大切にしながら活躍できる職場を目指しています。

大型自動車 免許 資格取得!

環境事業部
江守 俊祐

入社時は普通免許だったため、3t以上の車に乗ることができず、仕事にも限界がありました。しかし、免許取得制度を利用して大型免許を取得したことで、仕事の幅が広がり、皆と同じ仕事ができるようになりました。

まだ9t車までの仕事しかしていませんが、ゆくゆくは諸先輩方と同じように10t以上の車でバリバリ活躍したいと思っています。車両が大きい＝リスクが伴うので、習ったことをしっかり守り、無事故を目標に頑張ります。

育児休暇

管理部
野村 美沙

2018年に長女を出産した際に、育児休暇を取得させていただきました。現在所属している部署には出産経験をされている方が多くおられるため、子育てについての相談にのってもらったり、また子供の急な体調不良の際にも協力していただけたりと、子育てをしながら仕事をしやすい環境にいただけていて、非常にありがたいと思っています。

安心できる職場づくり

当グループは社員一人ひとりに支えられて成り立っています。その社員たちが安心して長く働ける環境にしたいと考えています。

社員それぞれのライフプランに合わせて育児休暇を取得していただけます。また、万が一の事態に備え、労働災害保険制度を整えています。

4 人事評価 制度

70名
評価制度

新しく“人事評価クラウドシステム”を導入しました。

現在までは給与、賞与、昇進を直属上司の評価にて行っていました。新しいシステムでは会社からの数値目標だけでなく、各個人が行動目標を設定し業務を遂行します。これにより評価の透明化と数字による明確化がなされました。

各個人での行動目標を設定することにより自覚と責任感が生まれ、職場環境の改善と顧客サービスの充実、売上、利益の増加に繋がっています。



育児休暇

当グループは仕事と家庭の調和を大切にすることを「基本行動原則」に掲げ、育児をしながら仕事をするスタッフを応援しています。

育児休暇を利用できるようにし、仕事と家庭を両立しやすい職場づくりに努めています。

3回取得…1名 2回取得…1名 1回取得…1名

※2010年5月からの実績です。

3名

育休取得

労働災害及び労災保険の実績

当グループは廃棄物処理のための重機や処理機を保有しており、社員の事故やケガ等のリスクも多く存在しています。労働災害が起こらない職場を目指していますが、万が一の事態に備えて労働災害保険制度を整えています。

2018年度は湖南リサイクルセンターで1件の労働災害が発生し、対象社員へ補償・給付を行いました。その後、再発防止に努めた結果、2019年度の労働災害は0件でした。

スタッフとその家族の生活を守るため、安全で働きやすい職場づくりに注力しています。

シン・キンカン

キンカングループの新しい時代を見据えた
様々な取り組みに触れることができました。



京都先端科学大学
経済経営学部 経済学科 准教授

三保 紀裕 氏

【プロフィール】

1983年 埼玉県鶴ヶ島市出身。博士(心理学)。島根大学キャリアセンター助教、京都学園大学(現京都先端科学大学)講師を経て、現職。専門はキャリア教育、職業心理学。大学ではキャリア教育科目、インターンシップを担当。

シン・キンカン

キンカングループの新しい姿、多様性を示すものとして「シン・キンカン」をテーマにまとめられた本報告書を拝読し、新しい時代を見据えた様々な取り組みに触れることができました。

世間ではこれまで、「働き方改革」という言葉が声高に語られてきましたが、奇しくもCOVID-19の影響により、意図せぬ形で働き方や業務の進め方を改善せざるを得ない事態に陥りました。急激な変化と多様な面についての対応が求められるなか、キンカングループではいち早くニューノーマルへの適応を進めている印象を受けました。衛生管理の強化はもちろんのこと、回収が止まらない体制づくりとそれに付随するものとしてICTの強化とそれに伴う働き方・業務形態の変化が分かりやすく示されている点が印象的でした。

3種類のCSR活動

廃棄物の運搬・処理を中心的業務としているキンカングループならではの活動をされている印象を強く持ちました。「自然を守る」「社会を支える」「繋がる教育」の3つの点からこれを整理していますが、いずれの活動も、継続して実施されているものです。「自然を守る」という点については森林整備、そして琵琶湖の生態系を守る活動が特徴的です。外来魚の駆除数に加え、CO₂吸収量に関する具体的成果が明示されています。琵琶湖の環境整備に関しては、「社会を支える」という観点からもCSR活動(環境イベント出展)が行われています。再生可能エネルギー、循環型社会を目指したBDFプロジェクトも大変興味深いものです。これら2つの活動は、有限である地球環境資源を効率的利用かつ再生産し、廃棄物の発生、更には地球環境汚染を可能な限り抑制することに寄与する活動として大変評価できるものです。「繋がる学習」については、循環型社会を目指すにあたっての啓発活動として評価できます。インターンシップ受入についても学生の進路選択に資するだけでなく、業界理解を深めてもらう点でも有益です。

その他の活動

マネジメントシステム、職場づくり、労働環境の改善についての報告がなされています。設定された目標、基準値に対する達成度が非常に高い点は評価できます。会社で働く従業員の安全、スキルアップへの配慮も素晴らしいと思います。



総評

今年に関してはCOVID-19への対応とそれに伴う様々な変化が求められていましたが、報告書を拝読して総じて感じられたことは、本質的には循環型社会を見据えた上での様々な活動が行われているという点でした。自然環境保護と汚染の抑制、そして啓発活動としての教育がCSR活動として報告されていますが、キンカングループが行っている業務内容との関係からも、これらは強い関連性があるものであり、すべてが循環型社会を見据えて、という方向性に集約されているように感じました。循環型社会を実現させるためには、再生可能エネルギーリサイクル、そして地球環境資源に対する意識的変化が不可欠であると思います。様々な課題はあると思いますが、これらを引き続き推進していただきたいと思います。



E-COMMUNICATION PARTNER

KINKAN GROUP

service information



PCB廃棄物処理 トータルサポートサービス

**PCBの処分期間が迫っています！
調査を行って、リスク回避とコスト削減を実現しませんか？**

現在、全国の工場や学校施設の蛍光灯・水銀灯などの安定器が破裂し、PCBが漏洩する事故が多発しています。PCBの処分期限が迫っている中、我々は全数調査・分別調査を通してPCB問題の解決及びコンプライアンス遵守のトータルサポートを行っています。少しでも不安な点があれば、ぜひ当社にご相談ください。

詳しくは当グループのwebサイトへ！

近畿環境保全 PCB



PCB廃棄物の
対象が
分からない
方へ

照明器具の全数調査をおすすめしています。

敷地内に存在するPCB含有の疑いがある照明器具は、使用中の器具を含めて全て期限までに必ず処分しなければなりません。

「PCB廃棄物の該当なし」と報告された施設でもPCB漏洩事故が多発しているため、行政は「PCB廃棄物の該当なし」と報告されている施設であっても、再度照明器具の全数調査を行うように求めています。

KINKANグループで全数調査を行うメリット

1 処分期限までに確実に処分できる

全ての照明器具を調査するため、処分し忘れなどの心配もございません。万が一、配置図面にはない新たな調査対象物が見つかった場合は、担当者との協議の上、必要に応じて追加調査を行います。廃棄に関しても、当社が一括サポートするため確実に処分することができます。

2 従業員・職員の安全を確保できる

PCB全数調査を行えば計画的にPCBを処理する事ができ、従業員・職員の健康被害を事前に食い止める事ができます。そして何より、処理期限後にPCB品発覚というリスクを回避する事ができます。

天井や壁にアスベストの使用が承認された場合は、労働基準監督署との協議をし、飛散防止策を講じるなどの安全への対策も行っております。

3 書類作成などの手間いらず

調査報告書・PCBの処分に必要な書類は、当社スタッフが作成いたします。お客様に手間を取らせないように実施いたします。

JPTAへの加盟

当社は、「一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会」(JPTA)に加盟しています。

PCB使用製品の全数調査・分別調査・廃棄処理を進め、保管事業者の負担軽減を図り、1日も早いPCBの全量廃棄を目指し、安心して暮らせる環境の確保に貢献いたします。

PCBの調査だけでなく、低濃度PCB廃棄物の収集運搬、処理、分析業務もご相談ください！トータルでサポートさせていただきます。

PCBとは

PCBとはPoly Chlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称で、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されました。後に有毒であることが判明し、1972年以降は製造や新たな仕様が禁止されています。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法で令和9年3月31日までに適正処理することが定められています。

PCBが含まれている
可能性のあるもの



照明器具の安定器



トランス・コンデンサー

PCBを放っておくと…

法令違反・罰則

PCB使用機器の紛失

処理費用による
経営への圧迫

従業員への健康被害

PCB廃棄物の
処理コストが
心配な方へ

廃安定器の分別調査をおすすめしています。

保管されている廃安定器をPCB品と非PCB品に分別する調査を行うことで処分費用の大幅な削減が見込めます。

また処理業者JESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)へそのまま搬入可能なドラム缶への詰め替えや荷姿登録などのサポートもいたします。

KINKANグループで分別調査を行うメリット

1 処理費用の大幅な削減が可能

PCB含有の可能性のある対象年代の安定器は全てPCB品として報告されている場合が多くあります。分別調査を行う事で大幅な費用削減が見込めます。

約95%の処理コスト削減につながった過去の事例もあります。

2 分別から搬出作業までサポート!

分別・保管・登録・届出・処理業者への搬出作業までおまかせください。当社スタッフが全てサポートいたします。

3 適切な保管に切り替えます

保管方法ももちろんサポートいたします!適切な保管方法をとることで漏洩等のリスクも回避することができます。

KINKAN GROUPではPCBの廃棄処理業務をトータルサポートしています!

弊社は一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会に加盟し、PCB全量廃棄を目的として活動しております。西日本エリアでは2020年3月末で高濃度PCB処理期限が終了となります。1977年3月以前に建築、増築された建物に対しては現在使用中の照明器具全数調査を実施し、PCB製品が使用されているか調査させていただきます。

お客様が確実に期限までに処理できるようにトータルサポートさせていただきますので是非一度お問合せ下さい。

営業部 営業二課 主任 田中 良太



環境ソリューションサービス

**お困りごとは全てお任せください！
お客様のニーズに合わせたワンストップのサービスをご提案します！**

当社ではオフィスや店舗から排出される様々な廃棄物に対し、ワンストップでサポートします。
廃棄物処理のプロとして、また環境ビジネスのリーディングカンパニーとして、お客様の様々な課題を解決し、安心安全でクリーンな職場環境づくりを支えます。どんな状況でもお困りごとがあれば、是非ご相談ください！

お電話
ください！

コンプライ
アンス遵守

コンテナ不要

少量の
産業廃棄物を
廃棄したい！

産業廃棄物の小口回収サービス エコ回収BOX

エコ回収BOXは段ボール1箱から回収に伺う、産業廃棄物の小口回収サービスです。

ご購入いただいた「エコ回収BOX」に不用品を入れていただければ、当社専用車両で回収に伺いますので、**廃棄物の置き場がなく、困っている方におすすめです。**

コンプライアンスも
ばっちり！

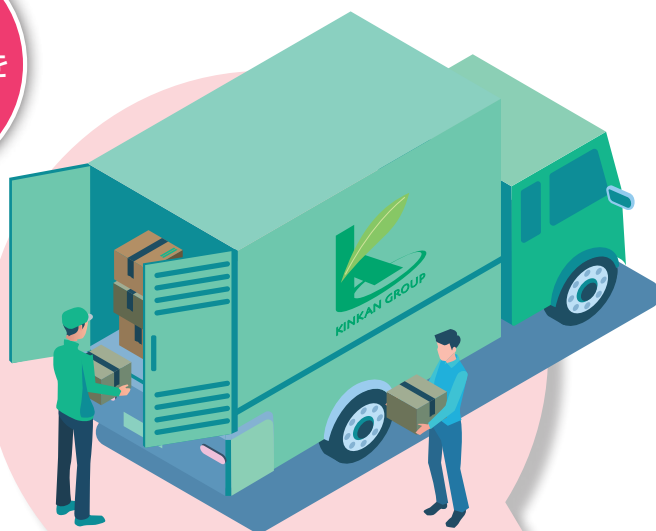
回収した不用品は、
自社工場にて適正に
処理されます。

家電・食器もOK！

家電製品や食器類
など処分づらい
不用品も回収します！

1箱から回収！

電話1本で1箱から
回収に伺いますので、
不用品を置く場所が
ない方に大変便利！



単発OK

害虫対策

お電話
ください！

コンプライ
アンス遵守

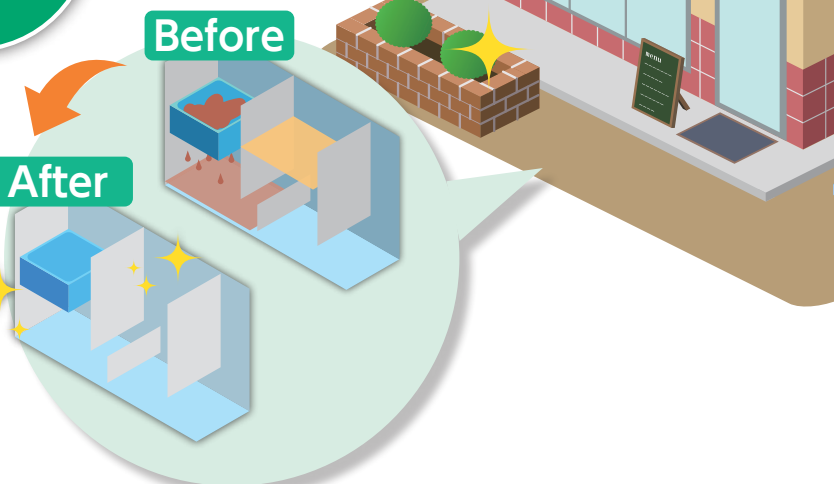
定期
メンテナンス

グリ
ストラップを
きれいにしたい！

グリストラップの洗浄サービス

異臭や害虫の発生、グリス機能の低下を感じたら一度ご相談ください。
お客様のご要望にあわせてグリストラップの清掃を行い、産業廃棄物の汚泥として適正に処理します。

月に一度の定期プランから年に一度の大掃除までお任せください。



お電話
ください!

コンプライ
アンス遵守

定期
メンテナンス

確かな
安全性

害虫対策

手間いらず

害虫駆除システム

with



全自動の害虫駆除機を使用し、閉店後に週2回の薬剤噴霧を実施することで高い駆除率を実現し、害虫を見ない環境作りをサポートします。



効き目が早い

一晩でわかる即効性!
withの薬剤は粒子が0.02 μ mと非常に小さいです。そのため、冷蔵庫の裏などの薬剤が届きにくい場所にも効果を発揮します。

確かな安全性

withの稼働時にはランプが点灯し、アラーム音が鳴ります。
人体への安全性を考慮し、医療品承認を得ている薬剤を使用した害虫駆除システムです。(医療承認番号21700APZ00812000)

置くだけ簡単

閉店後、自動駆除を開始!
自動で駆除を行なうため、休日を返上して店を開けたり、鍵を渡す必要もありません。
また火災報知器やガス警報器に反応することもなく、面倒な後片付けも必要ありません。

低価格(定期メンテナンス)

わかりやすい料金設定!
薬剤交換とメンテナンスはもちろん、期間中に機器が故障しても無料で修理・交換を行います。
解約・違約金などは一切かかりません。

害虫のいない
理想のお店へ!



情報漏洩
せずに
捨てたい!

お電話
ください!

コンプライ
アンス遵守

セキュリティ
対策万全!

らくらく作業
(分別作業なし)

機密書類リサイクルサービス

個人情報や機密情報などを管理することは企業の責務です。搬入先の会社はプライバシーマークやISO/IEF27001を取得しているのでセキュリティ体制は万全。

処理終了後はリサイクル証明書と機密抹消証明書を発行するので安心です。

また手間な分別作業もなく、ファイルやバインダーに綴じたままでもダンボールに入れていただくだけで引き取ります。

可燃ゴミは
キンカンに
おまかせ!

お電話
ください!

コンプライ
アンス遵守

定期回収

事業系一般廃棄物の定期回収

オフィスや店舗などの事業所から排出される一般廃棄物の定期回収を行います。回収のタイミングはお客様と話し合って決めるので、廃棄物が溜まってしまった!なんてこともございません。

弊社の回収許可エリアは滋賀県の10市町村と京都市です。許可エリア以外の地域でも、協力業者と連携して回収します。

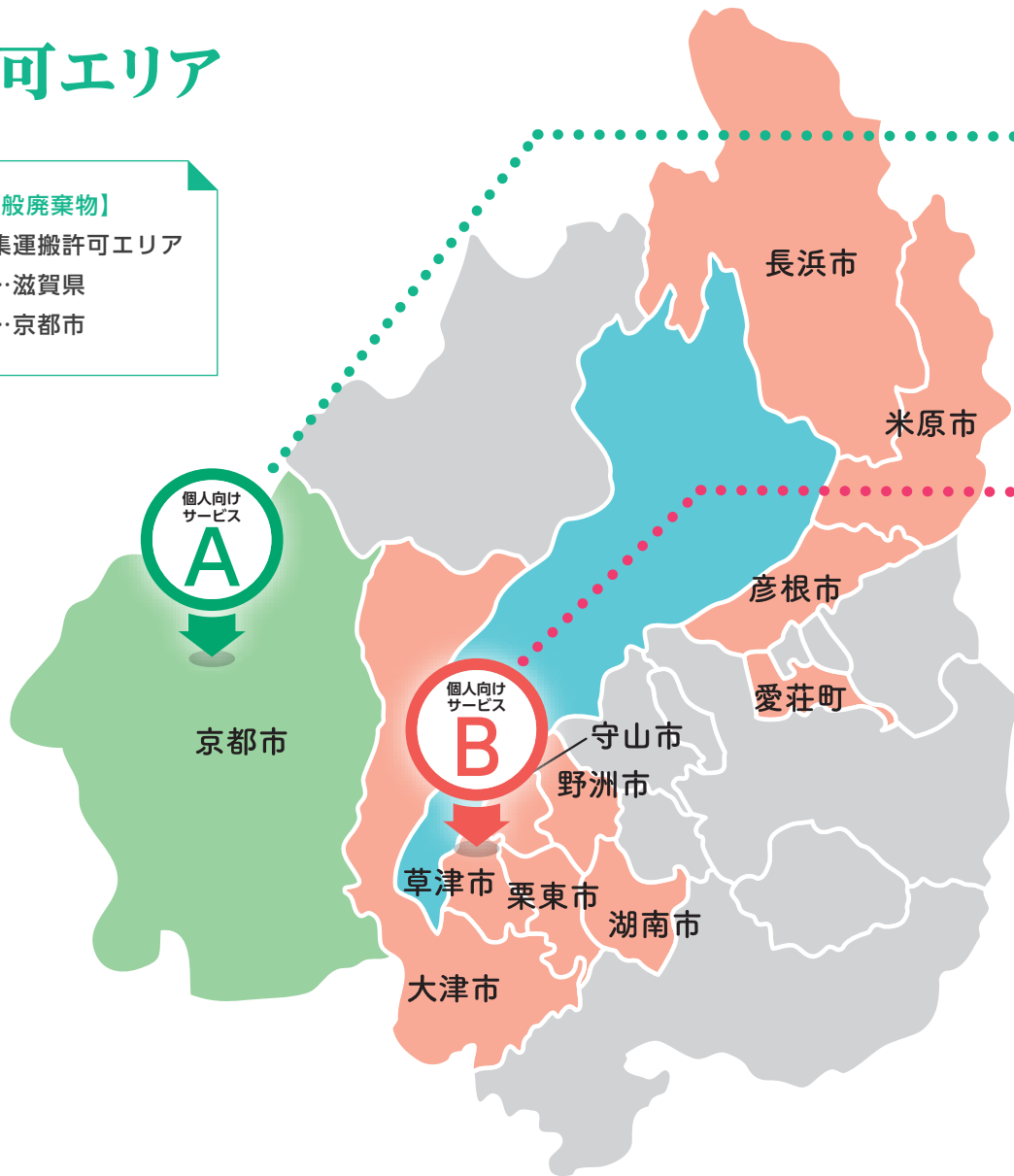
▶ 許可エリアについて詳しくはP32へ

一般廃棄物収集運搬許可について

当グループでは近畿環境保全株式会社が滋賀県内10市町、有限会社ラゴが京都市の一般廃棄物の収集運搬許可を取得しています。
 主に、店舗や事務所などの事業所から排出される事業系一般廃棄物を回収しています。一部のエリア(草津市、京都市、彦根市)では行政からの許可のもと、一般家庭から排出される廃棄物も回収しています。
 なお、許可エリア以外の地域でも協力業者と連携して回収をサポートします。

許可エリア

【一般廃棄物】
 収集運搬許可エリア
 ■…滋賀県
 ■…京都市



回収以外のサービス

らくピカ
 暮らし、スッキリ

らくピカの
 対象エリアは
 こちらです!

- ・守山市
- ・野洲市
- ・湖南市
- ・栗東市
- ・草津市
- ・大津市

ハウスクリーニング

レンジフード・エアコン・浴槽・換気扇・キッチン・トイレなど

リフォーム

キッチンやお風呂の取り替えから、内装・外装工事まで

庭のお手入れ

庭木剪定から芝刈り、除草、造園、外構工事まで

戸建解体

解体～廃材処理まで一貫施工! 大幅な費用削減が可能

個人向けサービス

個人向けサービス

A

粗大ごみの一般家庭向け回収について

京都市

京都市の粗大ゴミは有限会社ラゴにお任せください！
運び出しから積み込み、処分まで一括してサポートします。

優良許可業者



有限会社ラゴは京都市の優良許可業者です。
遵法性、事業の透明性、環境配慮の取り組み、電子マニフェスト、財務体質の健全性が京都府に認められているため、安心してお任せいただけます。

一括サポート

引越しや家財整理で出る大型家具や家電、処分が難しい物、インテリア雑貨、大量の荷物まで、迅速に対応します。
運び出しから積み込み、処分まで一括してサポートします。

テレビ1台からOK!

京都市内にお住まいの個人様向けに大型ごみ(粗大ごみ)の処分代行サービスを行っております。年末年始の大掃除やお引越しの際に出た不要品など、テレビ1台からでも承りますのでお気軽にお声がけください。



営業部 営業二課 主任
黒崎 暢章

詳しくは
当グループの
webサイトへ!



<http://www.kin-kan.co.jp/lago/>

個人向けサービス

B

家庭ごみの特例制度について

草津市

お客様の要望に合わせたサービスを提供いたします。

弊社では、草津市内から出される一般家庭ごみの収集代行業務を行っております。草津市内の家庭から一時的に大量にごみが出る場合、対象者に限り、市の定期収集やクリーンセンターへの直接搬入以外に、弊社にて収集運搬を行うことが可能です。お見積もりは無料です。お問い合わせいただきましたらすぐに現場にお伺いし、お客様の要望に合わせたサービスを提供いたします。

制度の対象者

- (1) 同居者のない者の遺品整理をする方
 - (2) 世帯員全員が次の①から③に掲げる者のみで構成される世帯
 - ① 高齢者(満65歳以上の方)
 - ② 障害者
 - ③ 要介護認定を受けている方(40歳以上65歳未満の要介護者も対象です。)
- ※要介護状態区分が要支援の方は除きます。



営業部 営業二課 課長
牧 大地

らくピカは、お客様の困った!を解決いたします。

らくピカはご自宅やオフィスでの快適な暮らしを強力にサポートするプロ集団です。
お掃除や庭木の剪定、リフォーム、大型ごみの回収をはじめ、お住まいのことなら何でもご相談ください。各サービスのプロが卓越した技術で皆様おひとりお一人のご要望にお応えします。お客様が気持ちよく、安心してご相談頂けるよう、お客様目線に立ち、親切・迅速・丁寧にこだわります。
また、大小に関わらずどんなお仕事でも真心込めてお仕事をさせていただき、みなさんのくらしのスッキリを応援します!!

CSグループ準備室 室長 西村 幸佑



廃棄物管理は電子サービスで解決!

当社では電子サービスを活用し、産業廃棄物処理の際に必要な事務作業を簡単にしています。
「急いで契約を締結したい」「manifest運用ってどうしたらいいのかわからない」「事務作業が面倒」という方もご安心ください。

電子manifestを導入するメリット

1 手間がかからない

manifestの登録に関する事務作業は当社が代行します。
また、毎年行政へ提出することが義務付けられている産業廃棄物管理票(manifest)交付等状況報告は、排出事業者の代理で情報処理センターが行って来れます。そのため、自ら報告する手間が省けます。

2 コンプライアンスの強化

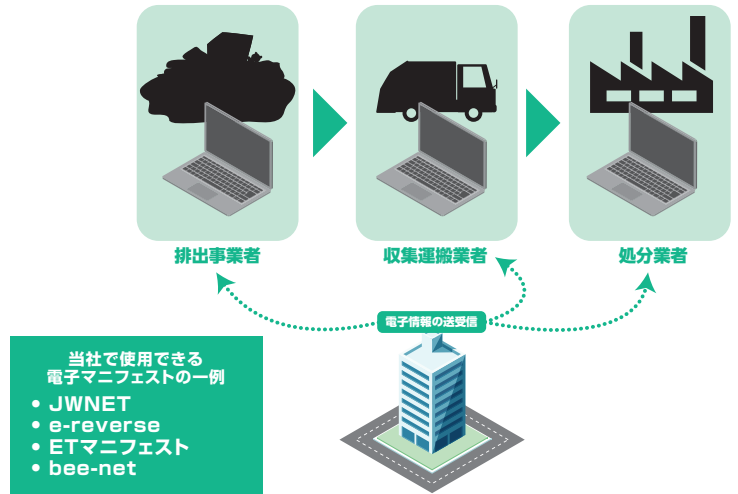
法定の期限が近づいても終了報告がない場合には、排出事業者へ通知がいくため、確認漏れを防ぐことができます。

3 データの透明性

処理状況は、排出事業者・収集運搬業者・処分業者の3者がいつでも確認できます。
情報処理センターが5年間保管し、セキュリティ対策も万全です。
本社・支店などがある場合、排出場所とは離れた場所からもmanifestを確認することができます。

電子manifestでmanifest運用を簡単に!

排出事業者はmanifestを使用し、委託した産業廃棄物が最終処分まで適正に処理されたかどうか確認することが義務付けられています。
当社では、手間を省けるようにmanifestを運用できるよう、電子manifestを導入しております。



保管場所が不要になり、照合確認と保管業務の省力化が図れます。

2005年から電子manifestを導入しました。年々使用件数が増え続け、2019年度は約12,400件の取り扱いがありました。利便性として、排出事業者様が年に1度報告を行っている産業廃棄物管理票交付等状況報告について、情報処理センターが代行して報告を行うため不要になります。また、紙manifestの場合、各票の照合確認と5年間の保管場所が必要でしたが、照合確認はWEB上での一覧表により確認ができ、保管場所が不要になり、照合確認と保管業務の省力化が図れます。

環境事業部 施設課 佐々木 友彦



電子契約で契約締結までをスピーディに!

廃棄物処理を業者に委託する際には、委託契約書を締結することが法律で定められています。また、契約書は契約の終了日から5年間保管しなければなりません。そこで、契約締結までの手間を省き、クラウドで簡単に契約書管理ができる電子契約を導入しております。

電子契約導入後

最速で

1000件
達成!
(weee調べ)

電子契約の手順

① メール受信

契約内容の承認依頼のメールが届きます



② アクセス!

メールに記載されたURLにアクセスします



③ 契約締結

契約内容を確認し、問題がなければ「承認」ボタンをクリック



電子契約のメリット

1 保管・管理を簡単に

締結した契約書はお客様専用ページのクラウドで保管できるので、場所をとりません。さらに、検索機能で見たい契約書がすぐに見つかります。
また、許可証の更新があるとメールで通知があり、webからダウンロードすることができます。

2 ペーパーレス

契約書を紙から電子データに変えることで、印刷用紙やインクなどの使用量を減らし、環境への負担軽減に繋がっていきます。

3 万全なセキュリティ

電子押印が完了すると、唯一無二の文書である証明としてアマノタイムスタンプが付与され、改ざんを防止します。

4 時間の短縮

webサービスを使用するため、契約書を郵送するよりも早く契約が締結できます。

最適な車両を手配してお客様の元へ



安全運転で廃棄物を処理先まで運搬します

お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処理先へと運搬します。当グループは委託された廃棄物を確実に運搬するために、安全運転を徹底しています。また、廃棄物の種類に合わせた最適な車両を手配することで過積載や運搬中の廃棄物飛散を防止し、適正な運搬に努めています。

なお、当グループで処理ができない廃棄物も、協力業者とのパートナーシップにより、適正な処理を提案します。

高度運行情報システムの利用

廃棄物の引取り後は、みまもりくんやGPS等の運行情報システムにより廃棄物の適正運搬及び安全運転管理を実現しています。

みまもりくん

最高速度・急発進、急ブレーキ等の運行情報を管理するシステムです。
当社では、みまもりくんによる運転日報をもとにドライバーへの安全運転意識の向上を図っています。

ETマニフェスト

電子マニフェストに付加機能がついたものです。
GPSによる運行記録と廃棄物の画像データで、産業廃棄物の処理プロセスの管理が可能になります。

京都もキンカンにおまかせ!

有限会社ラゴ



キンカングループで京都市の一般廃棄物回収を担当しているのが有限会社ラゴです。
京都市の一般廃棄物収集運搬業許可を取得し、優良事業者にも認定されています。

ESJ優良ドライバー認定の取得

2020年7月、9名の社員がESJ優良ドライバー[ブロンズクラス]の認定を受けました。これは「プロ意識・法令・安全・マナー・顧客満足」について学び、安心・安全なサービスを提供するための検定です。
今年度の目標として、ESJのeラーニングを活用して取り組んだ結果、認定証を取得することができました。



事前チェックの実施

当社では、万が一の事故を防ぐために出発前の事前チェックにより、ドライバーの身だしなみや健康状態の確認、車両の点検を行います。



ATパッカー車が 納車されました！

ATパッカー車を導入しましたことにより、AT限定免許の方にもドライバーとして活躍していただけるようになりました。



安全運転・エコドライブ・ コロナ対策の徹底に取り組んでいます。

一般廃棄物を回収する弊社のパッカー車には、デジタコと計量器が付いています。デジタコは、安全・省燃費を軸に評価点が出るようになっています。ドライバーは評価点をあげようと、安全運転・エコドライブに取り組んでいます。計量器は過積載の防止、顧客ごとの計量にも対応しています。ドライブレコーダーも付いているので、安心して運転できるようにしています。

コロナ対策として、マスク着用の徹底・アルコール消毒・次亜塩素酸による車両の除菌をして、感染防止に務めています。また、出勤場所を分散し、感染者がでた場合にも収集業務が滞りなく出来るようにしています。

環境事業部 物流課 課長 大森 高志



車両一覧・回収容器一覧



廃棄物に合わせた、運搬方法を提案

廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと、最適な車両を手配し、お客様のもとへ伺います。お客様のニーズに幅広く対応できるよう車両のラインナップを充実させています。

ウィング車

種類：15t、4t

リフトで積み込みます。段積みが可能のため、積み合わせに適しています。



ユニック付平ボディ車

種類：4t

ユニックで吊り上げて積み込むため、リフトがなくても積み込み可能です。



平ボディ車

種類：9t

小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。



回収容器一覧

コンテナの定期回収、スポット回収お問い合わせください！

フレコンバッグ



1m

1.0m×1.0m×1.0m
(長さ) (幅) (高さ)

1.5㎡コンテナ



1.9m×1.0m×1.0m
(長さ) (幅) (高さ)

2㎡コンテナ



1.6m×1.5m×1.2m
(長さ) (幅) (高さ)

4㎡コンテナ



2.8m×1.7m×1.16m
(長さ) (幅) (高さ)

6㎡コンテナ



3.9m×2.1m×1.1m
(長さ) (幅) (高さ)



New

ダンプ車 種類：10t

中間処理後の廃棄物を、遠方にある最終処分先に運ぶための車両です。一度に大量の廃棄物を運べます。処分地が遠方化しているのに伴い、3台導入しました。



圧縮式パッカー車 種類：3t, 4t, 9t

重量が軽く、圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。



回転式パッカー車 種類：3t

主に一般廃棄物の回収で使う車両で、計量器や分別回収用BOXが付いています。



コンテナ車 種類：2t, 3t, 4t, 9t, 10t

当グループのスタンダード車両です。荷台がコンテナになっているので、そのまま降ろして設置できます。用途に合わせたサイズのコンテナを運搬します。重量のある汚泥などを運ぶ増トン車もあります。



アルミバン/軽トラック 種類：2t, 3t

小口の産業廃棄物を回収するのに使用しています。道路の狭い住宅地などで、小回りの利く回収ができます。パワーゲート付の車両もあるので、かご台車の積み込みも可能です。



冷凍冷蔵車 種類：3t

最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。



8m³コンテナ



3.9m×2.1m×1.4m
(長さ) (幅) (高さ)

蓋付もごさいます

16m³コンテナ



2.5m×6.1m×1.3m
(長さ) (幅) (高さ)

24m³コンテナ



2.5m×6.1m×2.1m
(長さ) (幅) (高さ)

グリストラップ容器



0.3m×0.2m×0.36m
(長さ) (幅) (高さ)

200

エコ回収ボックス



0.35m×0.52m×0.35m
(長さ) (幅) (高さ)

600



幅広い廃棄物を適正に処理する廃棄物処理工場

湖南リサイクルセンターでは産業廃棄物の処理とリサイクルを行っています。廃棄物を適正に処理するためには、それぞれの廃棄物に対応できる専用の施設・設備が必要です。当工場では廃棄物に合わせた専門の建屋を設け、幅広い廃棄物に対応しています。

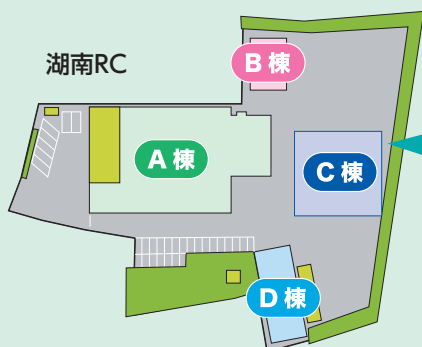
さらに、中間処理後の処分先を複数確保しています。処分先の複数確保は、処分先の閉鎖や災害等による一時的な受け入れ停止へのリスクヘッジに繋がります。また、搬出できる量が増えるため、当工場を受入できる廃棄物量も増えます。このようにして、適正かつ安定した廃棄物の処理を実現しています。

湖南RCの特徴

1 充実した施設・設備

当社の特徴は、廃棄物の種類ごとに建屋が分かれていることです。建屋ごとに専用の処理設備と保管スペースを設け、選別などの作業や保管も専用建屋内で行っています。建屋が完全に分かれていることにより、作業や保管の過程で他の種類の廃棄物と混ざるリスクを無くし、適正処理に努めています。

また、全ての作業を屋内で行うことで、廃棄物が敷地外に流出することはありません。



A棟

混合廃棄物の破碎処理施設

混合廃棄物の破碎処理を行っています。破碎前に選別を行うことで、リサイクルできるものはリサイクルしています。

C棟

木くず専用の破碎設備

種類ごとに搬入された木くずを破碎して、チップ化します。木材チップは製紙原料や建材原料などに利用されています。原料として利用できないものは、バイオマスボイラーの燃料として活用しています。



D棟

廃プラスチック類の圧縮処理施設

D棟では、固形燃料等にリサイクルされる軟質系の廃プラスチック類の圧縮処理を行っています。

2019年6月、圧縮機が新しくなりました。これにより、処理能力が大幅に向上しました。





安心して搬入いただけるよう、
毎日MTGを行なっています。

湖南リサイクルセンターでは、お客様から廃棄物を安心して搬入いただけるよう、各担当者と毎日MTGを行なっています。翌日に搬入される廃棄物について、お客様ごとに、どのように適正かつ安全に処理を進めるかを決めています。工場で日々気を付けていることは無事故無災害です。大きな機械や重機などの始業前点検・メンテナンスを毎日行い、大きな機械トラブルがないように工場全体で取り組んでいます。

私自身、この業界の事はまだまだ知らない事が有りますが、毎日が勉強だと思っていますので様々な事にチャレンジしていきたいです。

湖南リサイクルセンター 主任 吉田 光



湖南RCで
処理している廃棄物
(8品目)

- 廃プラスチック類
- 木くず
- 繊維くず
- がれき類
- 紙くず
- ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
- 金属くず
- ゴムくず

■ 圧縮機の処理能力

廃プラスチック類

約**4.5倍** 98.6t/日 → 443.3t/日

紙くず

約**1.9倍** 208.8t/日 → 393.1t/日

繊維くず

約**2.2倍** 120.0t/日 → 264.2t/日

金属くず

約**10.5倍** 100.8t/日 → 1,062.7t/日



2 製品廃棄も確実に処理

各種製造メーカーの機密情報が詰まった製品を解体、分別後、適正に処理しています。処理前、処理中、処理後に写真撮影と報告書を作成し、確実に処理することで、横流しなどのリスクを排除します。製品廃棄もお任せください！

3 Slackを活用した異物混入への対応

全国各地の廃棄物処理施設で電池やライターなどの異物が混入したことによる火災事故が発生しています。当社は事故防止のため、排出事業者に分別の徹底をお願いしています。

選別時に異物を発見した場合は、その場で異物の写真を撮影し、Slackで社内共有します。情報を受けたスタッフはすぐに排出事業者に報告し、適正処理のご案内をしています。

A棟

破砕機が新しくなります

A棟にある破砕機の老朽化に伴い、新しい破砕機の導入計画を進めています。新しい破砕機を導入することで、処理能力は大幅に向上します。

また、破砕機とともに機械化選別設備も導入します。これまで重機と手作業で行っていた選別作業を自動化することで、選別精度と業務効率を向上させます。

2020年7月に地元説明会を行い、現在は生活環境影響調査を行う段階です。

見込まれる
廃プラスチックの処理量

約**2.8倍**
199.5t/日 → 564.7t/日

資源循環センター

リサイクル処理に特化した廃棄物処理工場

リサイクル処理に特化した施設です。段ボールや古紙、空き缶等の圧縮機や、発泡スチロールの溶融機を備えています。それぞれに適した処理をした後、有価物として売却しています。

2018年7月からは、エコ回収BOX等で回収した小口の産業廃棄物の処分も行っています。大型あるいは大量の廃棄物処理を得意とする湖南リサイクルセンターとの連携を強め、グループ内で効率よく廃棄物を処理しています。

資源循環センターの役割

再生原料となる廃棄物の回収

ビン・缶

段ボール・古紙

発泡スチロール

選別圧縮機

大型圧縮機

溶融機



磁石でアルミ缶とスチール缶を選別し、圧縮



段ボール、古紙を種類ごとに圧縮



発泡スチロールを細かくし、インゴットの形に溶融

処理した資源物は全て有価物として販売しています。



圧縮処理された空き缶



圧縮処理された段ボール



溶融処理された発泡スチロール



選別ラインの導入

2020年7月に、有価物用の選別ラインを導入しました。これにより、効率よく有価物を分別できるようになりました。

また、屋内での作業が可能になったため、雨天でも濡れることなく作業ができます。さらに、暑い日はスポットクーラーも使用できるようになり、スタッフが働きやすい環境になりました。

安心して分けることができ、助かっています。

従来は雨天時には雨具がないと作業ができませんでしたが、ラインが導入されたことにより、ありがたく思っております。また、PETや缶の選別の際に、ラインで流していくことになったため、自分たちで袋を開けてやる必要がなくなったので分けやすくなりました。

忙しい時や危険な時に停止ボタンがあることで安心して分けることができ、助かっています。



キンカンビジネスアソシエツ(株) 石山 悠介、長田 慎也、堀井 翔太

キンカンビジネスアソシエイツ



ダイバーシティの実現に向けて

当グループはダイバーシティの実現を目指して、2011年より就労支援団体と連携し、障がい者の方々が安心して働ける安全な職場を提供してきました。廃棄物処理業の現場には様々な方が働ける可能性があると考え、当グループのダイバーシティ推進を担う法人として昨年度に設立したのがキンカンビジネスアソシエイツ株式会社です。

現在所属している正社員5名の内、3名が障がい者の方で、当グループの施設「資源循環センター」や「F.R.O.Gセンター」で活躍しています。グループ内では唯一の廃棄物処理業の許可を有しない法人として、グループ全体の下支えをしています。

誰でも楽しく働ける環境を求めて

資源循環センターではキンカンビジネスアソシエイツ(株)の社員や就労支援団体の利用者の方々が業務に携わっています。業務効率を上げることでサービス向上に繋げるとともに、障がいの有無や年齢、性別に関わらず、誰もが働きやすい環境づくりを行っています。

キンカンビジネスアソシエイツ 業務内容

FCサポート事業部



多くの女性社員を雇用し、グループ外の飲食系フランチャイズに出向しています。

今後はその事業の多店舗展開や、別事業へのサポートに向けて、更なる雇用の拡大が見込まれています。女性や外国人、ハンディキャップをもつ方々への機会の提供が増えるように情報開示をしていきます。

エコパートナー事業部



現在は、障がい者雇用を中心に、キンカングループ内の仕事をお手伝いしています。

特に資源循環センターではキンカンの社員と共に、缶・ビン・ペットボトルの選別や、小口産廃であるエコ回収BOXの仕分けに携わってもらっています。

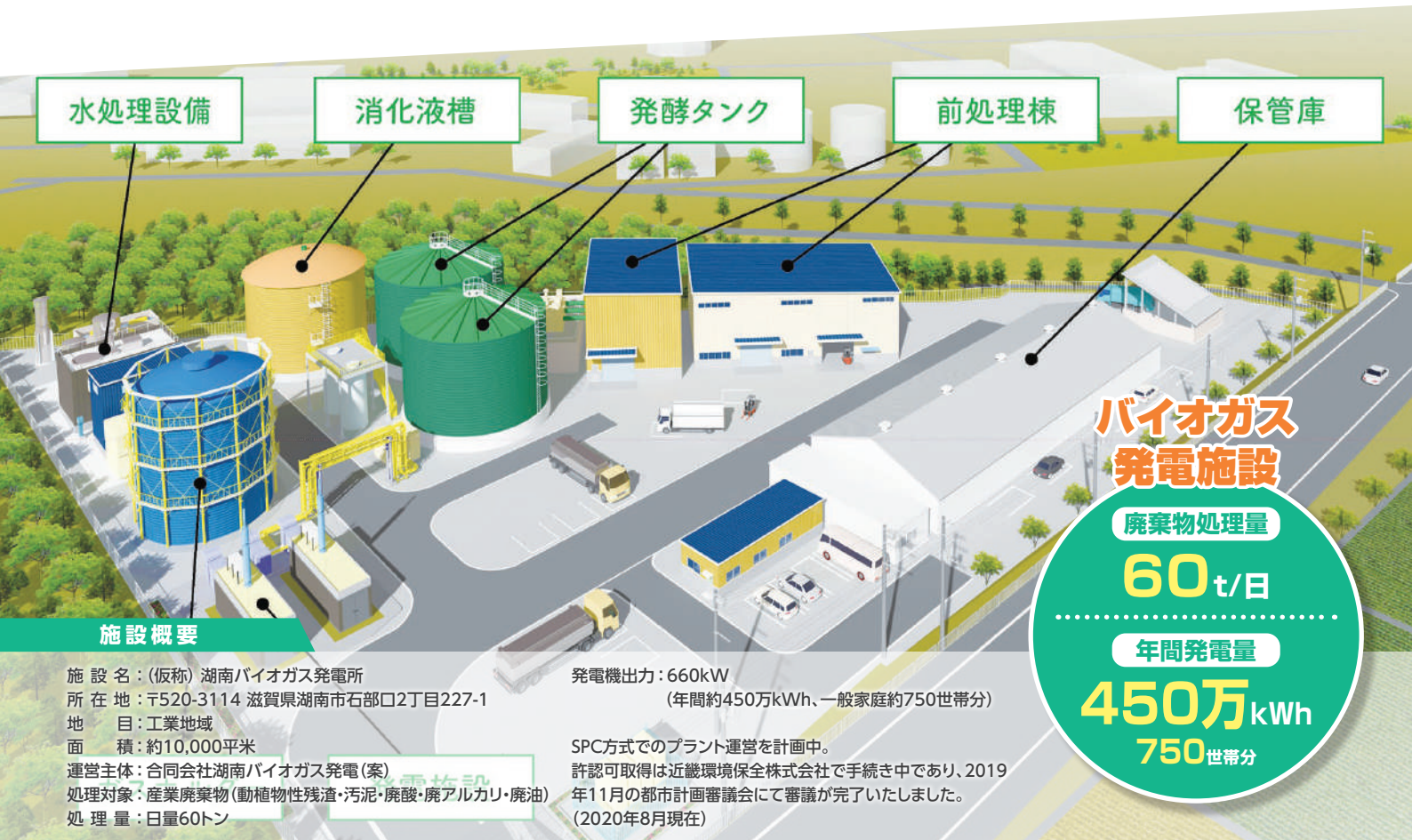
彼らの「素朴な疑問」を汲み上げ、グループ全体のサービスの向上に努めて参ります。

グループの理念の一つであるダイバーシティ。障害を「ハンディ」ではなく「個性」に置き換えて業務を実践しています。彼らの素直で前向きな個性には、損得などの駆け引きは存在しません。日常業務の中で『おかしいな?』と感じた事は朝礼、終礼で報告します。この様な、彼らの生の声(意見)が我々の顧客サービスの向上にも一躍担うことができているのではないかと感じます。彼らの持っている「素朴な疑問」をこれからも汲み上げ、グループ全体のサービスの向上に努めて参ります。

キンカンビジネスアソシエイツ(株) 瀬戸口 達也



バイオガス発電事業



**バイオガス
発電施設**

廃棄物処理量
60 t/日

年間発電量
450万 kWh
750 世帯分

施設概要

施設名：(仮称) 湖南バイオガス発電所
所在地：〒520-3114 滋賀県湖南市石部口2丁目227-1
地目：工業地域
面積：約10,000平米
運営主体：合同会社湖南バイオガス発電(案)
処理対象：産業廃棄物(動植物性残渣・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃油)
処理量：日量60トン

発電機出力：660kW
(年間約450万kWh、一般家庭約750世帯分)

SPC方式でのプラント運営を計画中。
許認可取得は近畿環境保全株式会社で手続き中であり、2019年11月の都市計画審議会にて審議が完了いたしました。
(2020年8月現在)

F.R.O.Gセンター

F.R.O.Gセンターでは、食品の製造、流通、消費の各段階で発生する食品廃棄物を飼料や肥料としてリサイクルするために、破袋・分別を行っています。破袋・分別することで商品としての価値をなくし、確実に処理します。

F.R.O.Gセンターは、2013年より食品リサイクル工場として稼働してきました。しかし、2018年9月に日本国内でCSF(旧名称:豚コレラ)が発生したことにより、養豚場の豚が急激に減少しました。これに伴い、飼料の需要も急激に減少し、飼料化リサイクルが難しくなりました。

この影響を受け、F.R.O.Gセンターは2019年10月から順次受け入れを制限し、2020年4月に運用停止いたしました。

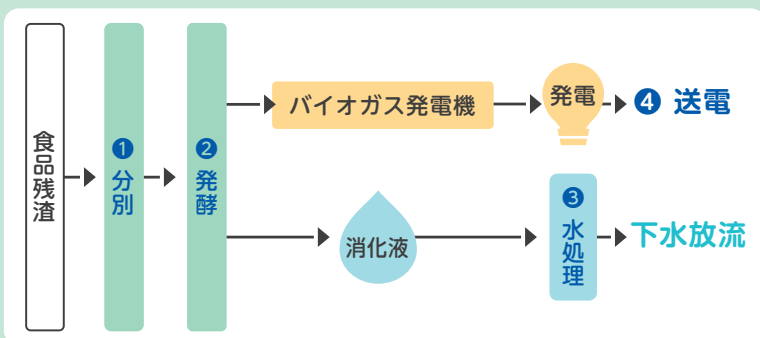


持続可能な食品リサイクル事業を目指して

2016年秋よりバイオガス発電プロジェクトを立ち上げ、現在も進行中です。このプロジェクトで新設するバイオガス発電施設は、1日あたり60トンの食品廃棄物の処理が可能のため、F.R.O.Gセンターよりも多くの食品廃棄物のリサイクルが可能になります。さらに、リサイクルによって発電可能な電気は年間約450万kWhにのぼり、一般家庭約750世帯分の電気に相当します。廃棄物処理能力とリサイクル需要の両方の観点から、より安定した食品リサイクルが実現できると考えています。

F.R.O.Gセンターで培ってきた食品リサイクルのノウハウを活かし、持続可能な食品リサイクル事業を目指します。

バイオガス発電施設の発電フロー



① 分別

プラスチック・紙・金属などのメタン発酵に適さない包装容器を分別し、さらに原料をメタン発酵に適した状態に調整します。

② 発酵

36℃～40℃に調整されたタンク内で、メタン菌が嫌気性発酵を行います。活性化されたメタン菌が有機物を分解する際の代謝物がバイオガスとなります。

③ 水処理

メタン発酵後の消化液は、当面は微生物処理によって法に定められた環境基準(放流基準値)以下まで浄化し、下水へ放流いたします。

④ 発電

専用のガスエンジンで電気エネルギーと熱エネルギーを生み出します。電気は再生可能エネルギーの電源として供給され、熱は場内で有効利用されます。



E-Communication partner
KINKAN GROUP
service information

お問合せ先 一覧

近畿環境保全株式会社

本社/管理本部	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地 TEL 077-564-1502 FAX 077-567-3767
営業本部	〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3-2 SKキューブ2-B TEL 077-561-5377 FAX 077-561-5388
環境事業部	〒520-3114 滋賀県湖南市石部口3丁目6-13 TEL 0748-77-7288 FAX 0748-77-8820
京都営業所	〒601-8104 京都府京都市南区上鳥羽角田町55-3 TEL 075-671-0564 FAX 075-671-0574

株式会社湖南リサイクルセンター

本社	〒520-3114 滋賀県湖南市石部口3丁目6-13 TEL 0748-77-8828 FAX 0748-77-8820
----	---

有限会社ラゴ

本社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地 TEL 077-564-1502 FAX 077-567-3767
京都営業所	〒601-8104 京都府京都市南区上鳥羽角田町55-3 TEL 075-671-0564 FAX 075-671-0574

キンカンビジネスアソシエイツ株式会社

本社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地 TEL 077-564-1502 FAX 077-567-3767
----	---



E-mail

info@kin-kan.co.jp



公式HP

<https://www.kin-kan.co.jp/>



お客様アンケート

KINKAN GROUPについて
のご意見をお寄せください。



twitter

@kinkan0611



instagram

@kinkangroup



facebook

@kinkangroup



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



KINKAN GROUPは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

KINKAN GROUP 公式ホームページ

www.kin-kan.co.jp

本誌に載っていないサービス案内や採用情報などを掲載！
最新ニュースも随時更新しているのでぜひチェックしてください。



お客様アンケート

KINKAN についてのご意見をお寄せください。

